

接着によるボディー骨格の接合で、強さと軽さを高次元で両立。

足回りを活かし切り、
優れたパワーウェイトレシオにも貢献。
FF量産車最速を支える軽量・高剛性ボディー。

228kW(310PS)/400N・m(40.8kgf・m)のエンジン性能をフルに発揮するサーキット走行を想定し、路面からのハードな入力を受けるサスペンション取り付け部を中心に、極めて高い剛性を求めたシビックTYPE Rのボディー。一方で運動性能に悪影響をおよぼす重量増加は最小限に抑える必要がありました。そこで、主要骨格の接合に接着剤を広範囲に採用し、補強材の追加をわずかにとどめながら大幅にボディー剛性を向上。ベース車(欧州シビック5ドア)に対し、接地点横剛性で18%高めています。また、前後バンパービームの構造を最適化するなど細部まで軽量化を徹底しています。

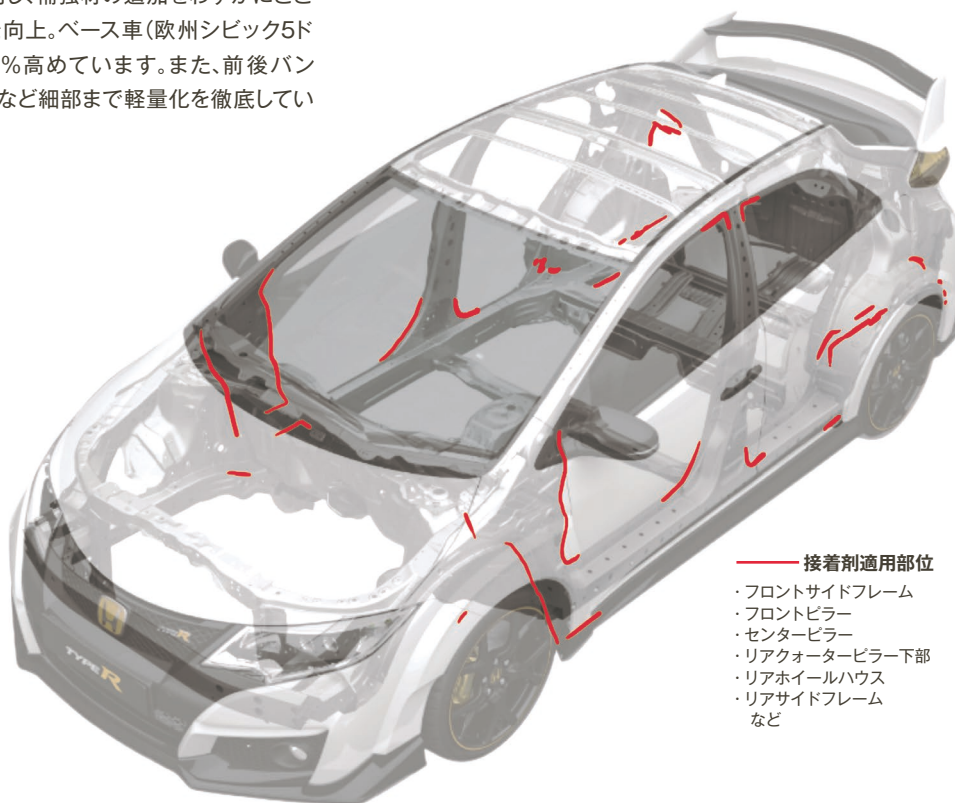
●効果的に剛性アップが図れる接着接合

スポーツモデルに従来から用いられるスポット溶接の増し打ちよりも、大幅に接合面積を大きくできる構造用接着剤による接合を採用。広い面で応力を分散できるため効果的に剛性を確保できます。シビックTYPE Rのボディーへの採用にあたっては、剛性効果と塗布可能箇所を見定めながらCAE解析を駆使して最適化。ロボットが塗布できない複雑な形状の箇所はトレーニングを受けた専任スタッフによって塗布するなど、剛性効果の高い接着箇所を最大限に確保しています。

■接着剤塗布箇所の品質検査



トレーニングを受けた専任スタッフが塗布するとともに、接着剤の厚みや幅、長さなどを厳密に管理



—— 接着剤適用部位

- ・フロントサイドフレーム
- ・フロントピラー
- ・センターピラー
- ・リアクォーターピラー下部
- ・リアホイールハウス
- ・リアサイドフレーム
- など

■形状変更・補強材追加部位 (対ベース車：欧州シビック5ドア)

- ・フロントバルクヘッド
- ・フロントアッパーメンバー
- ・フロントダッシュアッパー
- ・フロントサブフレーム取付部
- ・インタークーラー取付部
- など

